

広陵町中小企業振興条例 第3回ワークショップ 報告書

日時	2018年10月9日(火) 18時00分～20時40分
会場	広陵町役場
参加者	25名(広陵町職員5名を含む)
テーマ	振興計画策定に係る方向性(基本方針)の検討

平成30年10月9日(火)に広陵町中小企業振興条例の第3回ワークショップ(以下「WS」という)を実施し、地元企業の経営者ら20人にお集まりいただきました。

今回は制定された振興基本条例に基づき策定する振興計画の方向性(基本方針)を検討するため、4つのテーマに沿って話し合いをおこないました。

お忙しいなか、お集まりいただいた皆さまありがとうございました。



討議テーマ：振興計画の方向性について

「町内で働く担い手づくり」、「企業間連携の強化」「経営基盤の強化」「地域内経済の活性化」の4つのテーマごとに話し合いをおこないました。

◆◆ 町内で働く担い手づくり ◆◆

● 疑問点

- なぜ町外に働き手が流出するのか？
- 人を呼べる労働条件とはなにか？
- 学校での教育はどうなっているのか？
- 事業所のPRはどうしているのか？
- 人材育成をおこなうとどういったメリットがあるのか？

● 要望点

- 行政による広報・PR活動の推進（冊子の刊行など）
- 教育機関での情報発信
（インターンシップの受け入れ、説明会の開催など）
- 新たな人材確保への取組（派遣団体の設立など）
- 事業所の意識改革（在宅ワークの採用、経営計画の作成など）
- 町内に住んでもらえるような環境づくり（働き手を増やしていく）

◆◆ 企業間連携の強化 ◆◆

● 疑問点

- どういった町内企業があるのか？
- 企業間連携とはどういったことをすればよいのか？
- 現状でどういった補助金制度があるのか？
- 教育機関との連携はどうなるのか？
- 6次化産業とは何なのか？

● 要望点

- 企業間連携に向けた具体的な取組（座談会・課題発表会の開催など）
- 企業間連携をおこなえる人材の確保（コーディネーター発掘など）
- 企業と教育機関、町民の連携による商品開発
（町民による開発部の立ち上げなど）

→ 町内企業間での人材交流（社員のトレードやレンタル制度など）

◆◆ 経営基盤の強化 ◆◆

● 疑問点

- 町内の空き家は活用できないのか？
- 現状でどのような補助金制度があるのか？
- 女性の雇用状況はどうか？
- 企業立地への支援はどうか？
- 町内企業の就業環境はどうか？
- 町内での起業支援はどうか？

● 要望点

- 支援策の広報強化
（ホームページでの周知、補助金受給者の体験談掲載など）
- 企業間連携による基盤強化
（勉強会の開催、異業種からのアドバイスなど）
- 行政からの支援拡大
（経営管理支援、用途地域の見直し、高齢者の就労支援）
- 事業所自身による経営努力
（自社の強みを知る、事業承継をおこなえる環境づくりなど）

◆◆ 地域内経済の活性化 ◆◆

● 疑問点

- 町内で活かせる地域資源とはどういったものか？
- 地域内循環とはどういった意味か？

● 要望点

- 町内企業のメディアへの露出等を含めたPR
（テレビ番組への売り込み、町民による広報部の立ち上げなど）
- 地域内連携による商品開発（競争力ある商品のセット販売など）
- 中間支援組織の立ち上げ
- 中小企業全体の強化を図るため、補助ではなく育成を図る
- 町内企業同士が繋がるマッチング機会の創出
- 外部からの人材確保（移住・定住施策の更なる推進）

◆◆ その他 ◆◆

- ・ 働き方改革をおこなう
- ・ 産学連携の取組（多様な大学・研究機関との連携）
- ・ 町全体で儲かる仕組みづくり（経営計画の策定・優良企業の紹介など）
- ・ 地元に愛着を持ってもらうような取組
（町内イベントでのPR、商品配布など）